

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 009	提案機関名 JA かながわ西湘相和支店
要望問題名 ポタン桜の低樹高化技術について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 相和地区ではJA 管内でも指折りのポタン桜の栽培が盛んな地域です。しかし、近年の高齢化とともに樹高が高いことによる収穫の断念や、園地化されずに鑑賞用となっている樹木が多数見受けられるのが現状です。 また、ポタン桜は地域の漬物業者への出荷となっていますが需要に賸えていない状況です。 そのため、収穫作業は簡単で単価も安定しているポタン桜を、多くの方が販売物として扱えるようにするため、既存の樹木を収穫しやすい樹形にすることが不可欠となります。 については、農業者の所得向上・遊休農地対策・鳥獣被害対策等にも寄与するため、管理しやすい樹形としての「低樹高化」に向けた管理技術の構築と普及が必要となりますので要望いたします。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考 参考)平成28年4月(昨年)の価格は、赤 1300円・濃ピンク 900円 ※管内各地に点在している樹木は、上記の赤・濃ピンクとなっています。 ※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 これまでに種は異なりますが同じバラ科植物のウメを対象に当所で開発した樹体ジョイント栽培を発展させたジョイントV字トレリス樹形により脚立作業が不要になり、収穫作業が効率化するなどの成果を得ています。所内にはウメでの知見をもとにヤエザクラ‘関山’をジョイントV字トレリス樹形で栽培し、側枝の誘引角度や側枝剪定の有無は輪数別の花そう数、収量に大きな影響がないという結果を得ております。 ヤエザクラ‘関山’に関する収量性、作業性等に関する情報が無いことから、従来樹形との比較は実施しておりませんが、樹形が単純化でき低樹高での栽培が可能であると考えられます。しかし、ジョイントV字トレリス樹形を完成するためには、苗木の密植、主枝の接ぎ木、側枝誘引のための支柱の設置など新たなコストや樹形を維持するための剪定等の作業が必要となります。当所の展示樹を見ていただき、現地への導入を検討される場合は、ウメ等で得られた知見を提供するとともに既存樹の切り戻し等を行う場合には現地指導で対応します。			
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			